

長谷川 望 牧師

*イエスによる祈り。弟子たちによって福音が伝えられた結果、イエス・キリストを信じるようになった人たちのための祈り。それは、私たちのための祈りであり、教会のための祈りでもある。父よ。あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるように、すべての人を一つにしてください。(ヨハネ17:21)

「父なる神と子なるイエスが一つであるように一つに」なるように。父と子の完全な交わりの中に私たちが入れられるようにということである。一つとなる方法は、主イエスが父の栄光を現わすために十字架の死を受け入れ、復活されたことの意味を良く理解し、私たちも謙虚に十字架を背負って歩むことである。

*何のために私たちが一つにならなければならないか。それは23節にあるように、父が子を世に遣わしたことを世が知るため、そして、父が子を愛されたように、私たちをも愛された(愛している)ことを世が知るためである、と言われる。もしも、私たちがお互いに敵対したり、愛し合っていないければ、世はイエスのことを信じないし、父を信じることもない。一つとは同じ信仰で一つ、互いに愛し合うことで一つということである。

*父よ。わたしに下さったものについてお願いします。わたしがいるところに、彼らもわたしとともにいるようにしてください。わたしの栄光を、彼らが見るためです。(17:24) 主イエスは、ご自分がいるところにいつも、どこでも私たちを伴ってくださるよう祈られた。地上では私たちをサタンから守り、正しい道に導き、肉体が滅んだ後も常にともにいてくださる主イエス。わたしは決してあなたがたを見捨てない、と力強いお言葉をいただいている。これ以上の恵みはない。

*私たちは祈るが、祈る前にすでに祈られていることを知ろう。私たちの肉親や友人や教会が長い間祈り続けていた、また、今でも祈っているというケースが多くある。尊いことである。しかし、主イエスは、すでに2千年以上前に私たちのために祈ってくださった、そして今も一緒にいてくださっているだけでなく、祈ってくださっているのである。大きな励ましに感謝をささげたい。

